

令和7年度「情報I」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
情報I	必修	2	共通
教科書 副教材等	情報I Step Forward! (東京書籍) 情報I Step Forward!学習ノート (東京書籍)		

1 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2 学習概要

- ・「情報I」は単に情報機器を活用するだけでなく、自らの課題を見つけて、それを解決していく問題解決能力を身につけるとともに情報リテラシーを学んでいきます。これらは、将来どのような業種・職種に就くにしても身につけておくべき大切なスキルになります。生徒一人ひとりのペースを大事にしなが、一緒に学んでいきます。
- ・課題や実習は、積極的な姿勢を持って取り組んでいきましょう。
- ・座学では、情報社会で必要となる基礎的な知識の学習をします。
- ・実習では、座学と相互に関連を取り、将来必要となる文書ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを中心に使い方について学んでいきます。また、Pythonによるプログラミング、シミュレーション実習も行います。

3 学習方法

- ・座学では、情報社会に出て必要な情報の基礎知識に関することを中心に学習するため、話をよく聞き授業内で理解をするよう努め、積極的な姿勢をもって授業に取り組んでいきましょう。また、日頃から新聞を見る習慣をつけ、普段から情報に関する記事に興味・関心を持ち、自分なりの考えや意見を持てるよう心掛けていこう。
- ・ネット犯罪の実態を学び、授業の疑似体験を通して実際に起こった事例を紹介し、被害者、加害者にならないためにも、インターネットの脅威から身を守るための基本を学びましょう。
- ・実習では、課題や課題作品をしっかりと完成させなくてはなりません。それには、説明をよく聞き、わからないことは恥ずかしながら積極的に質問して聞いていきましょう。また、欠席をするとその後の実習に支障をきたすことになります。できる限り欠席しないようにしましょう。
- ・コンピュータ室等で授業する場合は、50分フルに使えるよう休み時間のうちに速やかに移動しよう。
- ・毎回の授業終了時に「授業の振り返り」フォームの入力をChromebookで行います。授業ではChromebookを忘れないようにしてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能(①)」、「思考力・判断力・表現力(②)」、「学びに向かう人間性(③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査(期末考査).....①、②
- ・時間内小テスト.....①
- ・授業に対する姿勢や態度.....②、③
- ・実習における発表内容.....②、③
- ・実習の提出状況・内容・発表方法.....①、②
- ・授業の振り返りフォーム.....③

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします

<p>学 期</p>	<p>28 ソフトウェア 29 処理の仕組み 30 論理回路 31 アルゴリズム表現 32 アルゴリズムの効率性 33 プログラムの仕組み 34 プログラミング入門 35 プログラムの応用 36 問題のモデル化 38 シミュレーション 39 シミュレーション活用 【実習】 Python プログラミング シミュレーション 5 分間プレゼンテーション</p>	<p>た簡単なプログラムを作成する。また、問題解決に向けたシミュレーションの活用にも触れる。</p>	<p>期末テスト 作品提出 プレゼン発表</p>
<p>三 学 期</p>	<p>第 4 章 ネットワークの活用 40 情報通信ネットワーク 41 デジタル通信の仕組み 42 インターネットの活用 43 安全安心を守る仕組み 44 情報システム 45 さまざまな情報システム 46 情報システムの信頼性 47 データ活用とデータベース 48 データの管理 49 データの収集と種類 50 データの分析 51 不確実な事象の解釈 52 2 つのデータの関係 【実習】 Excel 基礎 Excel 活用</p>	<p>「ネットワークの活用」では、ネットワークの基礎を学び、小規模ネットワークのシステムが構築できるようなスキルを身に付ける。また、データベースの基礎を学び、現代社会におけるデータ分析の必要性と重要性について理解する。</p>	<p>学年末テスト 作品提出 Excel 入力テスト</p>